



生ごみお宝通信 第22号

19. 12. 20

発行：江東区生ごみお宝倶楽部



Merry Christmas & a Happy New Year



今年の秋も、学習会、生ごみ減量相談会、グリーンフェスタ、芋煮会など様々な行事がありました。ご参加のみなさま、ありがとうございました。

2019年は台風による災害の多い年で、改めて確かな備えが必要と実感させられました。皆様にとってはどんな年でしたでしょうか。今年も残りわずかとなりましたが、皆さまもご健康に留意され、良い年をお迎えください。

学習会「海に漏れ出すプラスチック」を終えて

10月7日の上記のテーマの学習会には30名の方が参加されました。

テレビや新聞の報道により、私たちの使っているプラスチックが海に流れ出し、生物に様々な被害を及ぼしているだけでなく、すでに魚・水・塩などから私たちの体に取り込んでいることは、多くの方がご存知のことと思います。この学習会では、川や海に流れ出した影響ばかりでなく、私たちが様々な場面でプラスチック類を使うことで、プラスチックに含まれている添加剤などの化学物質を日々体に取り込み、細かなプラスチックの粒子もたくさん取り込んでしまっている（1週間にクレカ1枚分）というショッキングなこともことが分かりました。つまりプラスチックの使用そのものを減らす、なくしていくことが急務だということです。今号では、参加者の感想と、暮らしの中でプラスチックを減らしていくためのいくつかの例をご紹介します。

講師の栗岡さん



■参加者の感想

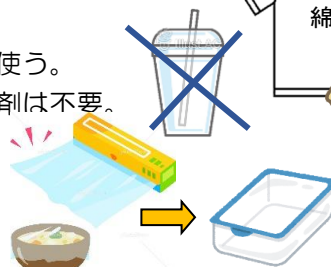
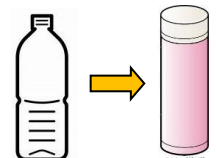
生活に入り込んだプラスチックを今後いかに増やさずいかを考えるきっかけを頂きました！（園田）

かなり衝撃的な内容で動揺しました。人間が安易に捨てたプラごみが、巡り巡って他の生物の命を脅かしているとは。この問題にどの様に向き合えば良いのか悩ましいです。（田中）

<減らそう！プラスチック>

■私たちが日々の暮らしの中でできることの一例を紹介します。

- マイボトルやマイバッグ、マイ箸を持ち歩く習慣を身につける。（ペットボトルやレジ袋、マドラーなどを買ったりもらったりせずに済みます。）
- 自然素材のものを使う。例えば、寝具や衣類、食器洗いは麻・ウールなどを使う。古紙の結束にはプラ紐ではなく紙紐を使い、フライパンはフッ素樹脂加工のものよりも鉄製を使う。まな板は木製にする。
- 食品の保存にはラップの代わりにふた付き容器や蜜蝋ラップを使う。
- 合成洗剤を止めて粉せっけんや液体せっけんで洗濯すれば柔軟剤は不要。
- 個包装はできるだけ避ける。（お菓子類、紅茶はリーフティで）
- イベントをするときはリユース食器を使う。



※日本消費者連盟の「みんなで減らそうプラスチック」より